

令和元年度 東原庁舎中央校「学校評価」アンケート集計結果

令和元年1月22日 東原庁舎中央校

厳寒の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

11月に、児童、保護者、教職員対象で「学校評価」アンケートを実施し、その結果から読み取れることや、改善の方向性についてまとめました。

この「学校評価」を今後の学校改善につなげ、子どもたちの健やかな成長を目指して全力を尽くしたいと思っております。また、保護者や地域の皆様からの信頼に応えられる、地域とともにある学校づくりに活用していくことができるようにしたいと考えています。

以下、設問毎に詳しく示します。

① 「夢に向かい努力する子」の育成

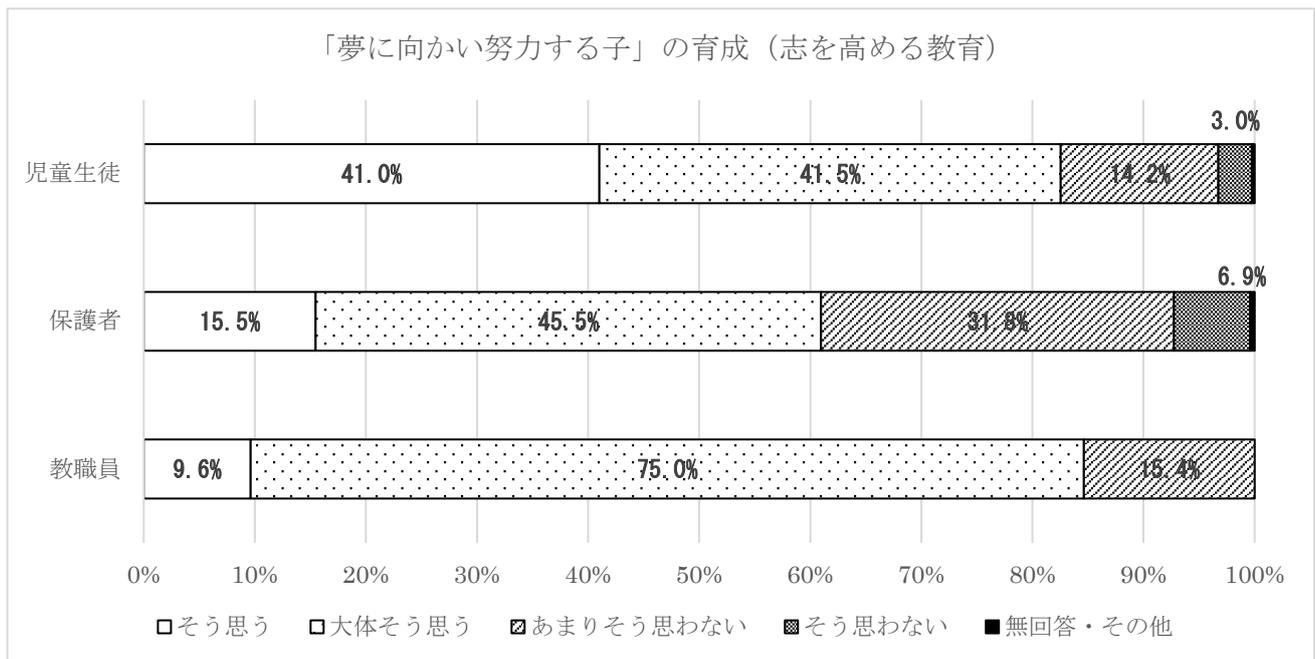
(志を高める教育)

【質問事項】

【児童生徒】 夢に向かい、目標を決め努力していますか。

【保護者】 お子さんは夢に向かい努力していますか。

【教職員】 夢に向かって努力する児童生徒の育成が図れていますか。



本年度、新しく追加した項目です。本校学校教育目標である「夢に向かって、生き生きと輝く児童生徒の育成」に係わる意識調査です。

82.5%の児童生徒が、肯定的回答をしています。教職員も84.6%が、夢に向かって努力する児童生徒の育成が図れていると回答しています。しかし、保護者の回答は61%にとどまっており、意識のずれが見られます。夢を持ち夢に向かい努力する子どもたちの姿が保護者の皆様にも伝わるように努めていきます。

学校教育目標に係わる大切な意識調査項目なので、次年度は児童生徒及び教職員の肯定的回答90%以上、保護者80%以上を目指していきます。そのために、教職員が「夢に向かい努力することのすばらしさ」を様々な場面で児童生徒に伝え、更に学校教育目標を意識して指導するよう働きかけていきます。

② 「かしこい子」の育成（学力向上）

【児童生徒】①家や学校で学習したことは、よく理解できていますか。

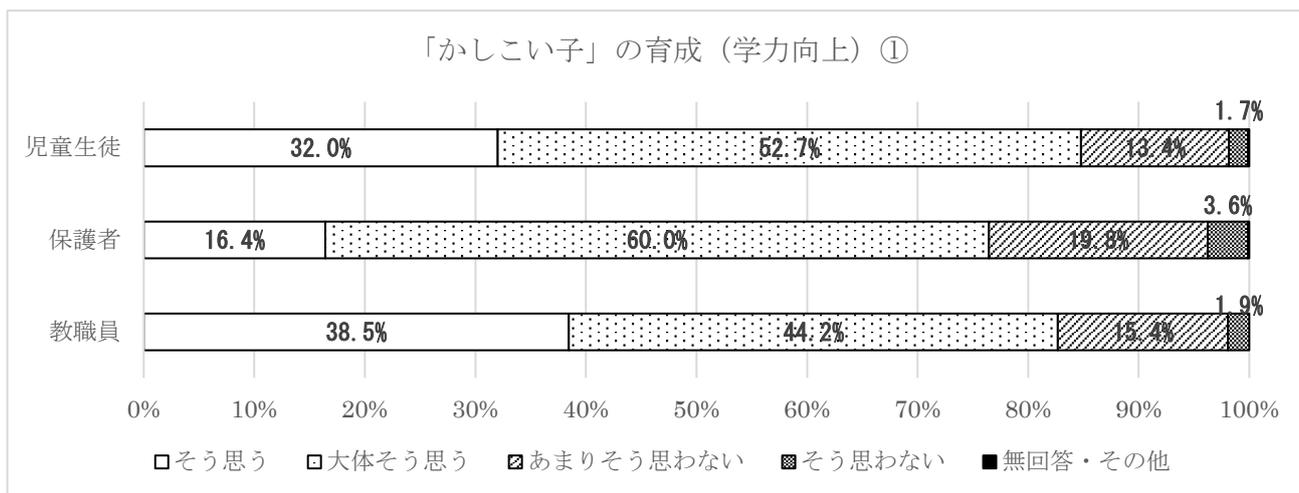
②学習の決まり「かつお」（かたづけ・つぎの準備・おトイレ）や「はあと」（話を聞く・あいさつをする・時計を見て動く）が守られていますか。

【保護者】①お子さんは、学習の内容を理解できていますか。

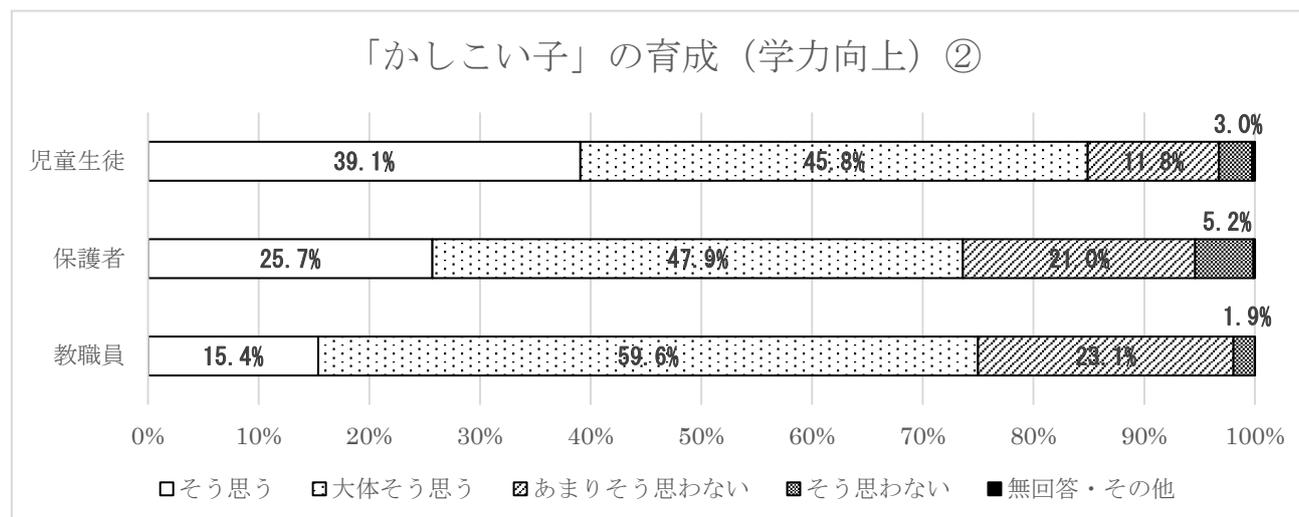
②お子さんは、家での学習が毎日できていますか。

【教職員】①ICT 機器を効果的に活用した授業づくりができていますか。

②学習規律および家庭学習の定着が図れていますか。



84.7%の児童生徒が、おおむね学習内容を理解していますが、15.1%の児童が「あまり思わない」「思わない」と回答しています。これは昨年度の調査結果とほぼ変わりありません。また、保護者は23.4%が「あまり思わない」「思わない」と回答しています。「学力向上」に向けて、教職員がICT機器等を効果的に活用したり「学び合い」活動を積極的に授業に取り入れたりしながら「分かる授業づくり」に努めていきます。また、理解が不十分な児童生徒に対する支援を保護者の皆様と連携しながら行っていきます。



学習規律および家庭学習については、児童生徒 84.9%が肯定的回答をしています。しかし、家庭学習については保護者の肯定的回答は 73.6%であり、教職員は 75%にとどまっています。学習規律をしっかりと身につけさせることで家庭学習の充実が図れるよう指導していきます。また、次年度は家庭学習の手引を作成し、全家庭に配布いたします。いつも見える所に掲示し、家庭学習の手立てとしてご活用下さい。保護者の皆様と連携して学力向上が図れるようにしていきたいと思っております。

③ 「やさしい子」の育成（いじめ問題への対応・心の教育）

【児童生徒】①クラスには仲のよい友達がいる、居心地がよいですか。

②あなたは、友達や周りの人のことを考えて行動できていますか。

【保護者】①お子さんは仲の良い友達がいる、楽しく過ごさせていますか。

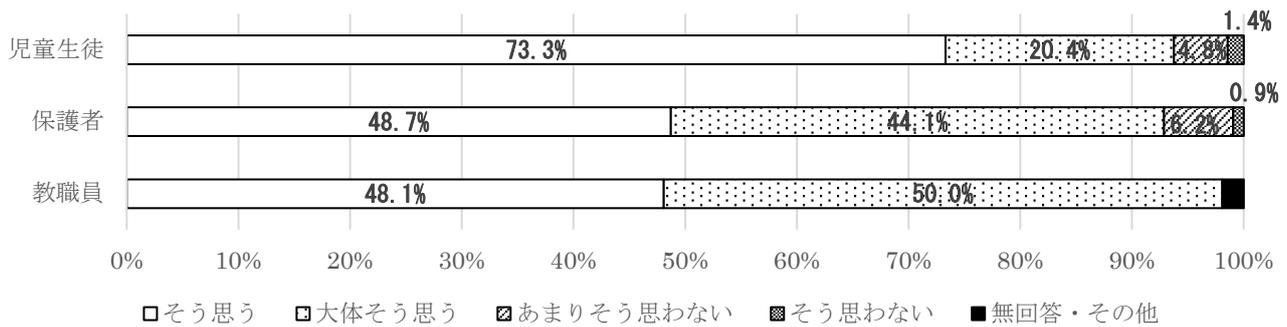
②お子さんは、友達や周りの人のことを考えて行動できますか。

【教職員】①「いじめ見逃しゼロ」に努めることができますか。

②児童生徒は、友達や周りの人のことを考えて行動できる子に育てていますか。

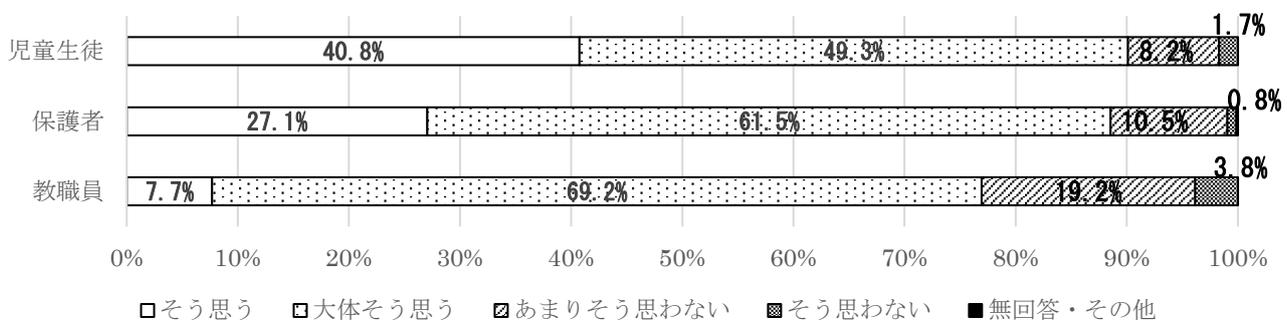
③児童会・縦割り班・生徒会の活動は、充実していますか。

「やさしい子」の育成（いじめ問題への対応・心の教育）①



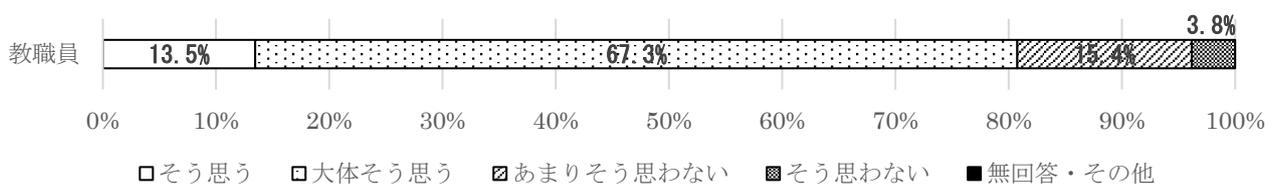
児童生徒①「仲のよい友達、居心地」のアンケート結果、93.7%が肯定的回答をしていることから、多くの児童生徒は友達と仲良く、居心地のよい学校生活が送れていると思われます。また、教職員も98.1%が「いじめ見逃しゼロ」を目指して指導していることが分かります。

「やさしい子」の育成（いじめ問題への対応・心の教育）②



児童・生徒②、保護者②、教職員②「友達や周りを考えて」については、「友達や周りの人のことを考えて行動する」ことについても肯定的回答が高く、①の項目と相乗的に高まっていることがわかります。教職員については、些細なからかいやけんかも見逃さずに許さないという意識で指導をしています。

「やさしい子」の育成（いじめ問題への対応・心の教育）③

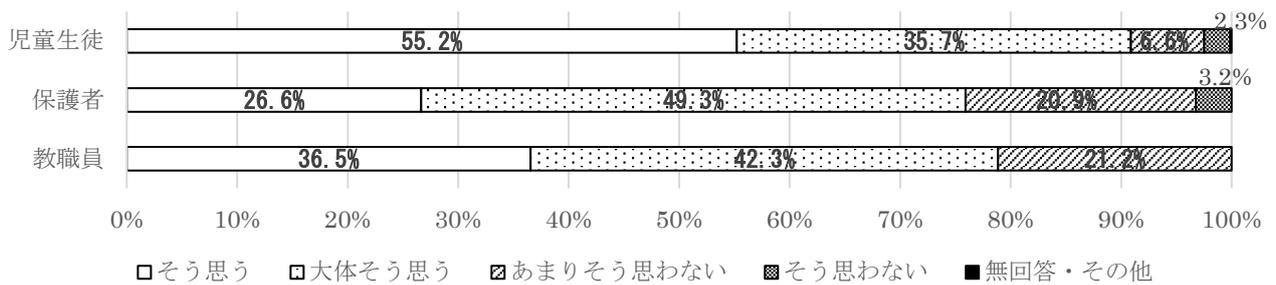


学校は、今後も児童会・生徒会や縦割り活動の充実、また、自問清掃、いのちの授業などを行い、「豊かな心の育成」について今後も継続して取り組んでいきます。

④ 「たくましい子」の育成（健康・体づくり）

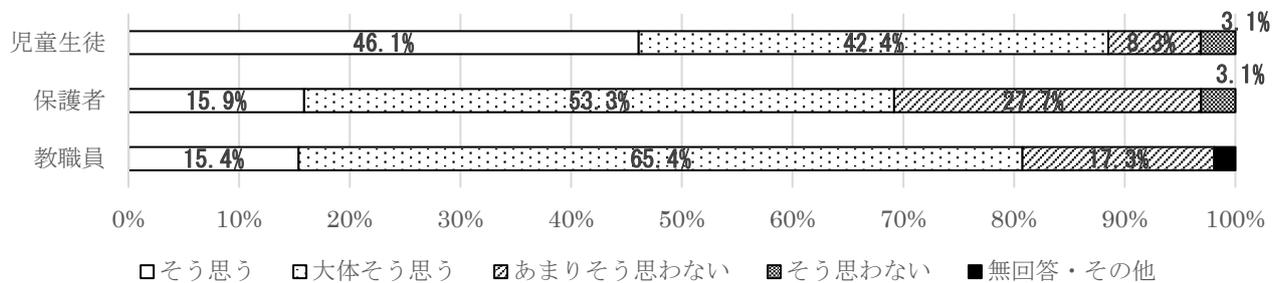
- 【児童生徒】①学習のはじめとおわりに、きちんと立腰ができていますか。
 ②あいさつや返事、はきものそろえがきちんとできていますか。
- 【保護者】①お子さんは、きちんとしたリズムで生活ができていますか。
 ※早寝・早起き・朝ごはん（基本的な生活習慣）及び運動の習慣など
 ②お子さんは、あいさつや返事、はきものそろえがきちんとできていますか。
- 【教職員】①「立腰」に取り組むことで、学習や生活リズムの向上が図れていますか。
 ②あいさつや返事、はきものそろえの指導ができていますか。
 ③効果的な体力づくり・部活動の推進ができていますか。

「たくましい子」の育成（健康・あいさつ・体づくり）①



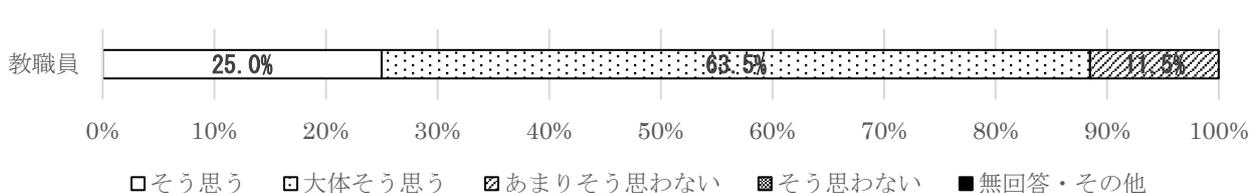
本校で取り組んでいる「立腰」は、おおむね定着をしています。保護者①「生活のリズム」の結果、は「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣は75.9%（昨年度もほぼ同じ）と低くなっています。学校では規則正しい生活の大切さについて継続指導を行いますので、ご家庭でも協力をお願いいたします。

「たくましい子」の育成（健康・あいさつ・体づくり）②



「あいさつ・返事・はきものそろえ」は躰の基本だと言われています。児童生徒の肯定的回答は88.5%です。しかし、保護者の肯定的回答は69.2%と低くなっています。このことから、児童生徒が学校では行おうが、家庭地域で行っていないと推察できます。継続して徹底指導を行っていきます。ご家庭でもご指導ください。

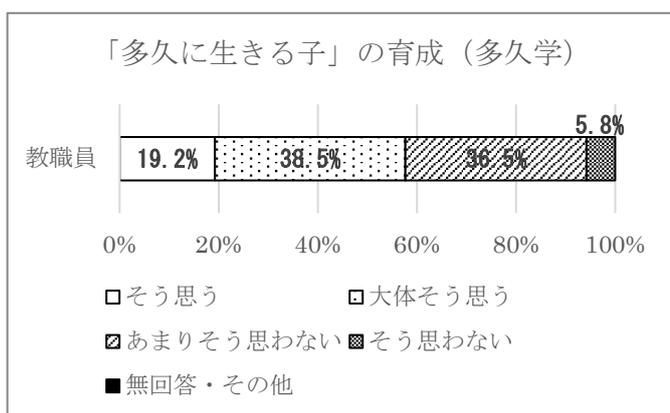
「たくましい子」の育成（健康・あいさつ・体づくり）③



教職員③「体力づくり・部活動推進」については、体育の時間だけではなく、今後も「中央オリンピック」などを通して体力向上に取り組めます。また、部活動については外部指導者とも連携しながら推進していきます。

⑤ 「多久に生きる子」の育成（多久学）

【教職員】①「郷土（多久）のよさ」の発見につながる学習活動や実践ができていますか。



本校は、常日頃から児童生徒に「論語」に親しませ「多久に生きる子」の育成に取り組んでいます。しかし、教職員の結果から、肯定的回答は 57.7%と低い結果となっています。

今後、郷土学習（多久学）について、義務教育学校として系統的な指導が行われるようにします。校内研修で、「多久のよさ」が発見できるような体験的学習を含めた指導内容について検討し、指導の充実に取り組みます。

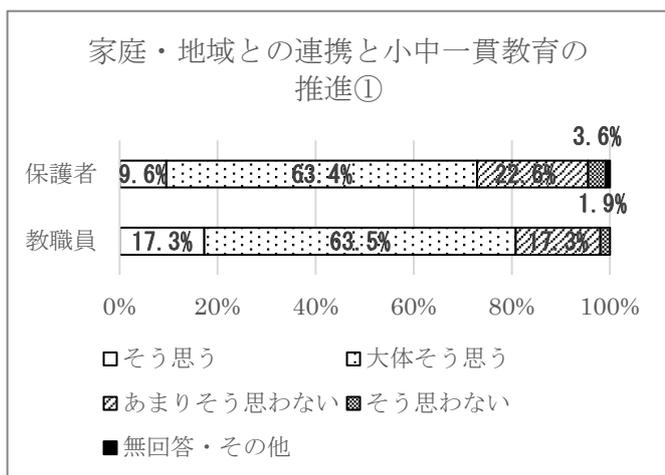
⑥ 家庭・地域との連携と小中一貫教育の推進

【保護者】①学校は、家庭や地域と連携した教育実践ができていますか。

②学校は、小中一貫のよさを生かした学校運営や教育実践ができていますか。

【教職員】①家庭や地域と連携できていますか。

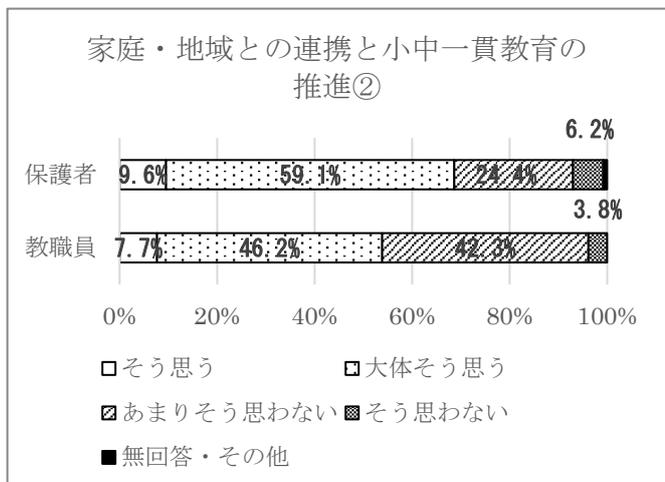
②小中一貫のよさを生かした学校運営や教育実践ができていますか。



家庭や地域との連携については、保護者の肯定的回答は 73%で低い割合になっています。

「土曜開校日」、「ふれあい道德」、「親子ふれあい活動」、学校応援団の皆様との活動などを通して、開かれた学校づくりを今まで以上に推進していきます。

また、よりよい学校づくりと子どもたちの健全な成長のためにも、日頃から学校と保護者の皆様との対話を通して連携を深めるように努めていきます。



小中一貫教育に関しては、保護者 68.7%、教職員 53.9%と肯定的回答は低い結果になっています。小中一貫教育のよさが保護者の皆様と教職員が実感できるように、前期と後期の乗り入れ授業を継続します。また、日々の生活の中で児童生徒の交流活動ができるようにします。教職員自身が「小学校・中学校」意識をなくし、義務教育学校として「低学年」「中学年」「高学年」ならではの活動を積極的に推進していきます。

今回のアンケート結果をもとに、職員による「自己評価（振り返りと今後の改善策）」を実施します。「自己評価」につきましては、学校ホームページに掲載いたしますので、あわせてご覧ください。今後とも、保護者や地域の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。